

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

平成30年4月 第184号 www.zenyoren.com/

- ゆるぎなき 安全作る 全溶連
- 見落とすな 隠れた危険を 自主保安



「富嶽の灯」

写真撮影：鈴木史和

撮 影 地：「富士市 富士山夢の大橋」

平成29年度 第二回評議員会	2
委員会報告	10
単位組合紹介	12
賛助会員の広場	13
賠償責任保険制度のご案内	14
お知らせ	15

平成29年度 第二回 評議員会開催

平成29年度第二回評議員会が平成30年2月9日（金）新大阪ワシントンホテルプラザにおいて役員50名出席のもとに開催されました。当日審議された議案は6月開催の総会に上程の予定です。



定刻、事務局より評議員会運営規程第9条に定める過半数以上の出席により、本会議は成立している旨を報告し、次いで鈴木副会長より開会挨拶がされた。

「いよいよ今日から韓国で平昌オリンピックが開催された。北朝鮮の参加が急遽決定し毎日のようにニュースが報道されているが、日本選手の活躍が期待されるところである。

我々業界の経営環境は、景気停滞の中厳しい状況におかれているが、全溶連の会員同士が一致結束してこの局面を乗り越えていく必要がある。このように国内景気の回復を実感できない中、全溶連としては会員各位の保安、安全を基本として、業界団体と協力しながら消費先に対する自主保安の強化・推進を図り、保安意識の高揚に取り組んでいく所存である。

最後に、各地域組合の状況について報告が予定されており、スムーズな議事進行とそして有意義な会議となるよう皆様のご協力をお願いして、私の挨拶としたい。」

引き続き、深尾会長が議長となり議事に入った。

第1号 議案

平成29年度 事業報告（案）承認の件

事務局より議案書に基づき以下内容を報告した。

- 1.全溶連の環境（内容朗読）
- 2.全溶連の事業活動の状況（内容朗読）
- 3.一般庶務事項（記載通り）
- 4.委員会活動の状況
- 5.総会及び役員会における審議事項（記載通り）
- 6.会員数の推移

①平成29年10月1日：1,412社

②比± 0社

③比▲12社

②平成29年 4月1日：1,412社

③平成28年10月1日：1,424社

7.慶弔

慶事は記載通り、物故者については後日調査後報告とする。

以上事業報告は承認された

第2号
議案平成29年度
決算見込(案)承認の件

柳川財務委員長から平成29年度決算見込(案)について報告した。

平成29年度 収支決算書(見込案)要旨
(収入の部)

単位: 千円

科 目	予 算	決算(見込)	備 考
1.基 本 収 入	26,420	26,504	+ 84 正会員予算比 + 2社 賛助会員 2社退会 1社加入、1社下期加入
2.事 業 収 入	13,861	13,590	▲ 271
(保安事業関係)	9,565	9,290	(▲ 275)点検表、保安テキストの頒布数落ち込み
(共済事業関係)	4,296	4,300	(+ 4)予算とほぼ同額にて推移
3.事 業 外 収 入	1,500	1,620	+ 120 利息、パンフレット封入代、損保広告掲載料他
4.前年度繰越金	11,373	11,373	
総 合 計	53,154	53,087	

(支出の部)

単位: 千円

科 目	予 算	決算(見込)	備 考
1.事 業 費	11,939	11,558	▲ 381
(保安事業関係)	5,469	5,155	(▲ 314)販売に応じた原価
(共済事業費)	852	860	(+ 8)生保、医療・傷害保険集金事務委託他
(その他事業費)	5,618	5,543	(▲ 75)容器特別回収ポスター・チラシ等作成
2.会 議 費	2,650	2,860	+ 210 保安W、経済W、保安対策連絡会議
3.管 理 費	25,241	25,572	+ 331 雑費、全溶連大会広告料、経理用ソフトサポート契約他
4.総会・大会準備金	1,500	1,500	平成31年北陸大会向け
5.営 業 外 費 用	50	50	前年度実績値を参照
6.次年度繰越金	11,774	11,547	見込利益 174千円 (予算利益 401千円)
総 合 計	53,154	53,087	

今年度繰越金は11,547千円となることから全額次年度繰越金とすることが提案され承認された。

第3号
議案平成30年度
事業計画(案)承認の件

望月総務委員長より、昨日開催された総務委員会及び常任評議員会で決定された12項目の事業計画案が提案された。

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
- 3.主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導
- 4.自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進

- 5.関連業界及び団体との共同事業の推進
- 6.高圧ガス滞留容器全国一斉特別回収の継続実施
- 7.高圧ガス不明容器処理の対策・推進
- 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
- 9.福祉共済制度・団体定期保険(新キャンペーン)及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度の普及
- 10.会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
- 11.第75全溶連総会(東京)の開催および第76回全溶連大会(北陸)の準備
- 12.「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充

以上、30年度の事業計画(案)は承認された。

第4号
議案平成30年度
収支予算(案)承認の件

柳川財務委員長より平成30年度予算(案)について提案された。

平成30年度予算(案)要旨

(収入の部)

単位:千円

科 目	29年度見込	30年度予算	備 考
1.基 本 収 入	26,504	26,480	▲24 正会員 1,410社 賛助会員 39社
2.事 業 収 入	13,590	13,950	+ 360
(保安事業関係)	9,290	9,590	+ 300 保安文書、保安テキスト頒布の拡充
(共済事業関係)	4,300	4,360	+ 60 8,900口 事務代行料、制度運営費
3.全溶連総会収入	0	960	+ 960 懇親会参加者 120名 @8,000円
4.事 業 外 収 入	1,620	1,650	+ 30 受取利息他
5.前 年 度 繰 越 金	11,373	11,547	
総 合 計	53,087	54,587	

(支出の部)

単位:千円

科 目	29年度見込	30年度予算	備 考
1.事 業 費	11,558	11,685	+ 127
(保安事業関係)	5,155	5,255	+ 100 販売に応じた原価
(共済事業関係)	860	850	▲10 団体保険、傷害・医療補償事務手数料
(その他事業費)	5,543	5,580	+ 37 容器特別回収月間ポスター他作成費用 会報誌年4回発行・委員会活動
2.会 議 費	2,860	3,950	+ 1,090 総会費用(今年度は単独総会年)
3.管 理 費	25,572	25,670	+ 98
4.総会・大会準備金	1,500	1,500	±0 姫路大会の運営実績を基に次回開催大会向けとして計上
5.営 業 外 費 用	50	50	±0 前年度実績値を参照
6.次 年 度 繰 越 金	11,547	11,731	当期利益:184千円
総 合 計	53,087	54,587	

以上平成30年度予算(案)は承認された。

第5号
議案第75回全溶連総会に関する件および
第76回全溶連大会に関する件

以上の内容で準備を進めたい。

第5号議案第75回全溶連総会及び第76回全溶連大会の開催について承認された。

望月総務委員長より、第75回全溶連総会開催および第76回全溶連大会の開催に関する事項について提案された。

次いで北陸大会実行委員会を代表して東狐委員長より挨拶がされた。

①75回全溶連総会開催に関する件

- ・総会開催日 平成30年6月8日(金)
 - ・開催場所 メルパルク東京
 - ・参加費(懇親会費)として8,000円/人
- 以上の内容で準備を進めたい。

②第76回全溶連大会開催について

1. 開催日 平成31年6月4日(火)、5日(水)
2. 会 場 ホテル日航金沢
3. 参加予定数 300名
4. ①オプション 市内観光 バス日帰り
②オプションゴルフ 10組予定

第76回全溶連北陸大会 実行委員長挨拶

「次回は北陸組合が担当することになり金沢にて開催することで準備を進めている。4年前に北陸新幹線が開通し、従前は東京～金沢間は4時間30分の時間を要していたが、新幹線開通により2時間30分で移動が可能となり大変便利になった。北陸での開催は20年ぶりとなるが、北陸地域には沢山の景勝地があるので思う存分北陸の自然を満喫いただくよう多くの皆さんに参加を願いたい。」

報告事項

各委員会報告

総務委員会（望月委員長）

総務委員会の活動は第3号、第5号議案の通りである。

財務委員会（柳川副委員長）

財務委員会の活動は第2号、第4号議案の通りである。

組織委員会（大島委員長）

組織委員会の活動は組織の整備・拡充、会員増強に向けて活動しているが、近年の情勢は高齢化に拍車がかかり、会員数が減少しており今後も会員数が減少していく傾向である。平成28年10月の会員数は1,424社で平成29年10月では1,412社と1年間で12社の減少となった。このような状況下、正会員が減少している中、組織委員会としては賛助会員の加入増強に注力している。また賛助会員についても積極的な取り組みを行い今年度は1社の新規加入が出来た。今後は各単位組合の賛助会員のリストの中からピックアップして加入の働きかけをしていく。

経済委員会（佐藤委員長）

経済委員会の活動は、長年取り組んでいる商慣行改善運動について、地域によって若干の差はあるものの、保安契約の推進の取組強化、容器による供給において、容器の所有形態別に個別に契約確認事項を定め保安に関する契約書の締結が重要である。次に販売店員のレベルアップを図り、経済・保安ワーキンググループにおいて進めている地域での講習会を開催し講師の育成支援に取り組んでいく。また、全国各地で発生している鳥インフルエンザについては、地域格差が生じているが、今後も引き続き検討していく必要があると考える。

次に平成29年度から賠償責任保険が保安委員会から移管されたことから、第3者に損害を与えた場合に補償される賠償責任保険制度の加入状況について、未加入会員の現状とご意見についてアンケートを実施している。加入されていない会員

の方は、この機会に是非検討願いたい。

保安委員会（鈴木委員長）

保安委員会の活動としては自主保安活動を中心とした活動の強化を図った。昨年6月の全溶連大会では、記念イベントに保安をテーマとした「全溶連と会員の自主保安」についてパネルディスカッションを行い、高圧ガス販売店における周知、教育の重要性を認識するものと好評を得た。放置容器の処理促進の取り組みとして第5期初年度がスタートし、内容物不明容器4本、毒性ガス容器7本、アセチレン容器296本を処理する予定である。自主保安活動としては、保安文書類の定期的な内容の見直しと、新規の保安文書の発行に取り組んでいる。周知文書解説書は、発行から7年経過していることから全面改定することに取り組んでいる。平成29年度の消費先における高圧ガス事故は、前年度より減少するものの、消費先で所有する容器の長期放置による破裂事故が相次いだことから、高圧ガスの危険性を正しく認識して、高圧ガス容器回収、早期返却、保安契約締結が可能となる活動に取り組んでいる。

厚生委員会（土田委員長）

厚生委員会の活動は福祉共済制度の拡充ということで、団体定期保険、傷害補償、医療補償、GLTDの加入促進を基本に活動していく。今期はキャンペーン第7弾として平成29年10月1日から平成31年3月31日までの期間にて「ポイントゲット・セカンドステージキャンペーン」を行う。このキャンペーンは前回のポイント加点基準を見直し、上位5組合を表彰する。また、現行の団体定期保険のオプションとして長期収入補償（GLTD制度）を設けたが、加入事業所はわずか2社となっており、今年は3社増の5社を目標として取り組んでいく。団体保険の平成30年1月の更新募集の結果は、3,838名、加入口数は82口減の9,016口となり、平成30年度の保険料は、全体の加入人員、加入口数の減少から、募集金額は1口620円と変更はないが、1口450円から10円アップの460円に増額され、制度運営費の組合への事務手数料は150円から10円減の140円となる。

広報委員会(藤本委員長)

広報委員会の活動は会報誌を年4回発行することにしており、特集記事(新春座談会・大会開催)の作成や、第8回の写真コンテストをおこない、応募総数32名・80作品の中から広報委員会で厳正な審査の結果、東京組合の中森さんの作品

「どの花の蜜が美味しいかな」が最優秀作品として選ばれ、1月号の表紙に掲載した。また賛助会員については、少しでもお役に立てるよう会報誌の「賛助会員の広場」に会社広告を無償で紹介しており、既に3巡目に入った。皆さんに見て頂き、読んで頂く会報誌を目指し取り組んでいく。

各地区報告

各地区組合から地域報告がされましたが、紙面の関係で要点のみ掲載させていただきます。

詳しい内容は全洛連ホームページ評議員議事録を参照願います。

北海道(伊並評議員)

5日～12日の間、札幌雪まつりが開催されこの期間は観光客で賑わっている。北海道に関する景況であるが、札幌市内のホテル建設、札幌駅前開発、千歳空港ビル建設、副都心ビル建設、札幌ドーム改修という案件を抱え、向こう3年間の仕事量を抱えており、近年では最高水準にある、また、開発予算も前年比10%程度アップしている。今後の動向であるが、札幌オリンピック開催を招致しており、決定すれば7年間ほどの景気が担保されるとの試算もありオリンピック開催招致に期待をしている。

青森(葛西評議員)

当県は一次産業の県であり昨年は、米、りんごの収穫は良であった。水産に関しては湾内のホタテ、なまこが順調であり、不漁はイカくらいであった。県全体としては悪い状況にない。工業関係は原子力関連事業がうまく進まず一歩前進二歩後退の状況である。建築関係業界は東北復興の需要と東京オリンピックの需要を抱え順調である。また造船業界2社についても順調である。鳥インフルエンザに関して、平成25年に締結済の協定内容を基に県畜産課と会合を行った。その際、発症時における対策として防御服は処理担当者以外にも配送担当者に支給することになった。CO₂ボンベについては充填した状態で県が150本在庫している。

岩手(竹内評議員)

県南地区の自動車関係企業は順調だが、沿岸地

域は不漁続きで工場閉鎖の企業も出ている状況である。復興事業については順調に推移している。鳥インフルエンザ対策について、当県では発症経験がないことから宮城県での会合を参考に進める方向である。県内における炭酸ガスの充填については、県中、県南地域には充填所の設備があるが、県北には設備がなく、県をまたいでの充填について行政側は許可できないとの理由から重点対応に苦慮している。県ではCO₂ボンベを100本備蓄しているとのことであるが、充填方法等については検討中である

秋田(相場評議員)

個人消費は住宅が堅調であり設備投資は高めに推移している。自動車関係を対象とした電子部品やデバイス関係企業が堅調である。昨年7月に記録的な降雨があり復旧に向けての公共事業が増えてきている。鳥インフルエンザについて、平成28年11月に野鳥による発生があったものの家禽では発生していないが、宮城県で発生した事例の資料を基に県側と4回ほど会合を持ち、鳥インフルエンザに関する連絡、体制、供給網、再充填の基準について検証を行っている。県ではCO₂ボンベ25本、スノーフォン14本、ハンドカーを備蓄している。

山形(大場副会長)

一斉回収運動として10月1日～31日にかけて約130社の調査を行った結果、所有者不明容器はゼロであった。高圧ガス保安東北大会を仙台にて開催し、山形からは数名が参加した。国土交通省より危険物運搬車の運転手を対象に周知要請があり、昨年11月に開通した東北中央道(福島大笹尾IC～山形米沢八幡平IC)の9kmに及ぶトンネル区間の危険物運搬車両は原則通行禁止とのことで、車輛は旧道13号線を迂回するよう通達があった。

宮城 (佐藤評議員)

沿岸部は冷凍倉庫を中心とした建屋工事が増加しており、県南地区は自動車の電動化に伴う設備変更の需要により活況である。石巻地区は、ガスの需要がなく落ち込んでおり、発電機関係のプラントも終了している。造船関係も新造船の受注がなく売り上げは大きく落ち込んでいるという状況である。全体的に仕事量は確保できているものの人材不足が深刻であり人材の奪い合いが生じている。人件費は高騰しているがそれでも人は集まらないのが実態である。鳥インフルエンザ対策について、県畜産課との取組は盤石なので鳥インフルエンザが発生しないことを祈るのみである。

茨城 (柳川評議員)

当組合に関する状況は、1月の会報誌に掲載した座談会の記事にてほぼ内容が包括されている。茨城組合では販売業者向け講習会を行っており、前回は大岡理事長を招き講演をいただいた。また、消費者保安講習会を日立市と古河市の2ヶ所において実施した。「高圧ガスの安全な取扱い及び容器管理」というテーマで太陽日酸北関東支社の技術関係者を招き講演を行った。茨城の特長として北関東一般高圧ガス協議会（茨城、群馬、栃木、埼玉）があり順番で開催している。

埼玉 (小宮評議員)

県が発表している経済動向調査によると穏やかに回復しているとの報告がなされているが、業界として生産部門は一進一退の動きであると判断しておりこれが実感である。溶材協会の活動としては今年度2月22日に消費者保安講習会を浦和の地で開催することで準備を進めており、出席者数は200名強が見込まれる。昨年2月に県畜産安全課との間で鳥インフルエンザ覚書を締結した。今後は年1回溶材協会と会合を開き協議していくことになり昨年12月に第1回目の会合を行った。ガス関連事故に関して、4月～12月までの事故発生は災害16件（漏えい14件の内、冷媒8件）、盗難11件（LPGの容器14本）であった。

千葉 (大森評議員)

組合としては、消費者が事故を起こさないよう毎年保安講習会を開催し安全に対する啓蒙活動を行っている。（販売者講習を2回、取扱い者保安

講習会を2回実施）昨年11月には高圧ガスの移送者を対象として381名の参加を頂き防災訓練を実施した。鳥インフルエンザに関するアンケートを9月に実施したところ75社中37件の回答を得た。内容としては、協定締結に賛成28社であるもののサイフォン管を所有していない等の理由から実質的には対応が難しいとの回答も28社あった。今後サイフォン管の確保と管理について協議していく。4月1日付で政令都市は許認可が県から移管されることから、昨年7月に千葉県高圧ガス保安基準委員会を設立した。

東京 (市村評議員)

景況感について組合員にアンケート調査を行い途中経過ではあるが、123社中57件の回答を得た。売上に関する問題30件、後継者問題23件、白紙4件という回答結果であった。売上に関しての問いについては、増加が14社、横ばい30社、減少が13社の回答を得た。昨年11月東京都における危険物移動車輛の取締りが行われ、当該地区に於いて、特殊高圧ガスであるホスフィンを車輛にて移送しているにもかかわらず、移動看視者の同乗がなく、不同乗は悪質な違反行為であるとして摘発された。同行為に対し東京都環境局管理改善部の課長より二度とこのような不祥事が無きよう通達があった。

神奈川 (佐波評議員)

設備投資がかなり高水準で推移しているとのことだが業界への貢献度はないが、2017年は前年比で1.8%増、2018年は1.4%増との予想がたっている。組合として注視しているのは4月より実施される行政移管である。政令指定都市（横浜市・川崎市・相模原市）の3ヶ所が対象となるが、川崎市に位置する京浜工業地域、首都高速に関しては県が監督することであり戸惑いがある。高圧ガス事故について、9月に大学病院の研究棟にて炭酸ガス（30kgボンベ）の破裂事故が発生した。県の調査によるとボンベ内部に水が混入し、内部腐食が進み破裂に及んだとのことで、今後の措置としては、水の混入を防止するため逆止弁を取り付けるよう通達があった。

静岡 (望月評議員)

鳥インフルエンザに関して、県の指導のもと5

年ほど前から10～11月の時期に県と4団体合同の演習訓練を行っている。ガス使用の訓練ではないが、次回よりサイフォン管を使用したガスにて訓練を実施する予定である。静岡県内の水素ステーションの設置状況は、首都圏と名古屋間の2ヶ所（清水・浜松）に設置されているが、当県燃料電池保有車は10台以下である。県側によると向こう4年で6ヶ所の基地を作りたい意向があり協力を要請されている。

事故に絡む件であるが、富士市のユーザ（荒川化学）において粉じん爆発とみられる大事故が発生し、1名の死亡者を出した。同社は松脂を原料としてインクに付着させる商品を製造している。

山梨（河内評議員）

全国的に寒波が続き例年になく冷害による被害が出ている。県民人口は、人口減少に歯止めがかからず東京への一極集中が加速している。景況感については、緩やかな回復基調であるとの発表があるが、県内地銀の発表では減収減益であるとの見方である。大企業は好調である一方で小企業は低調であるが、汎用品、半導体、山梨の得意とする水晶技術は好調である。また、人手不足解消の省力化ロボット産業と建築関連業界についても好調である。鳥インフルエンザについて県との協定は12月15日に基本契約を締結した。昨日、県側より詳細打合せを実施したいとの打診があった。CO₂ガスは県が80本、組合が50本を準備している。

長野（代理宮原氏）

6月30日付で鳥インフルエンザに関する協定を県側と締結した。昨年9月に長野市において70名の受講者を対象に消費者保安講習会を実施した。容器特別回収月間においては昨年10月に62本を回収、不明容器として塩素2本を処理したが、2年連続で発生したことからメーカー、ユーザー、販売店が三位一体となり注意喚起と容器管理の徹底を図っていききたい。経況は、半導体、自動車関係の電子部品、工学系計器関連で需要改善の見通しである。工作機械、産業機械等は国内外ともに需要増加しており、人手不足による省力化に向けての設備投資なども期待されている。

新潟（田村評議員）

1月に降雪15時間により列車内に500人が閉じ

込められた事故があり皆さんにご心配頂いたが、今年は降雪量500cmの豪雪により一時閉じ込められる地域があった。市内は30cm程度だが、郊外は60～100cm、長岡においては140cmもあり出勤時には除雪作業から始まる状況で37年ぶりの豪雪に苦慮している。降雪により一般家庭の給湯器事故は多く発生したものの高圧ガスに関しては大きなトラブルはなかった。景況としては北陸新幹線の開通で2駅新設されたが、その後大型プロジェクトはない。柏崎原発も稼働する様子はなく、建築関連は動きがある状況。

東海（大島評議員）

鳥インフルエンザ協定について、岐阜県は12月31日付にてCO₂の供給締結が完了した。これ以外にも豚の殺処分としてCO₂を使用することになっている。保安関係では高圧ガスの事故発生防止に向けた保安講習会をのべ6回（700名受講）実施した。昨年10月には高圧ガス容器特別回収月間には保安資材を積極配布し9,547社に対し保安活動を行った。5,089本の長期停滞容器と所有不明容器34本、放置容器70本を回収した。4月1日より行政移管が実施され名古屋市は担当所轄が愛知県から消防署に変更となり、他地区は愛知県となる。三重県高圧ガス溶材組合に於いては今年で創立40周年を迎え10月11日に三重県四日市市のホテルにて記念式典を開催する予定である。

北陸（東狐評議員）

37年ぶりの豪雪で特に福井市内に於いては積雪が150cmあり国道で1500台の車が立ち往生し、解消までに3日程の時間を要し社会生活がマヒ状態となった。業種的に見ると電子部品、デバイス、ジェネリック医薬品、金属関係は建設機械を基調として回復がみられ概ね順調である。国内一安価な電気供給元である北陸電力は志賀原発の長期稼働停止による影響から4月より値上げが開始される。高圧電力を使用する工場、商業施設、オール電化住宅等は全体の2割が対象となり、平均で10%程度の値上げでセパレートガスの製造原価に影響が生じるため価格対応の必要性が発生する。新幹線の延伸工事は2023年春の開業を目指し金沢～敦賀間の工事が進められている。同工事に伴いトンネル掘削用のCO₂ガス、レール圧接等に使用されるアセチレンガス等の需要が見込まれる。

京都（中森評議員）

京都は観光がメインで外国人観光客が多いが、中でも中国語、韓国語が飛び交っている。京都を代表する企業として、日本電産、京セラ、ローム、村田製作所があるが生産工場はなくガス業界としてはそれほど影響がない。建築関係は、京都駅前にホテルの建設ラッシュ、祇園地区においては空き地があればホテル建設、古民家は民泊施設という状況である。

鳥インフルエンザ対策は、府との相談は無意味であるとの声が大きく、京都組合単独で対応をしている。CO₂ガスは20本程度保有とのことだが対応は無理であると考えている。保有ボンベに対する再充填方法が決定されていないことが不安であり、どのように実施するのか全溶連の各地区における関係各位の意見を頂きたい。

奈良（植野評議員）

近畿の景況は悪い。京都・奈良・和歌山を縦断する高速道路のルートのうち京都・奈良の一部についてはルートが最終決定していないことが今後の課題である。組合としては保安講習会を実施していく方針であるが、高压ガスの保安対策指針を作成してから4年が経過するので更に販売業者、消費者の皆さんに再度指針使用について周知することを今年1年間重点的に活動していく。

大阪（田畑評議員）

昨年より景気は良くなったが業界に対する好感度は感じられない。天王寺にある日本一高いビルで話題となっている「あべのハルカス」の効果がみられるようで景気に寄与するのではないかと期待している。2025年に大阪万博の誘致活動をしており11月には結論が出そうであるが、期待感を持っている。2月27日に組合会員向けに高压ガス保安講習会を開催することになっている。

和歌山（加藤評議員）

近畿の端に位置する県であり景気に大きな影響を受けず地を這うが如く進んでいる。昨年1年間は高压ガスに関する事故、盗難の発生はない。ただし、石油コンビナート関係の事故が発生したことを受け、県職員が担当業務として駆り出されているため事故報告について正確な報告がなされていない可能性がある。昨年、鋼造容器保安指針を

作るべく県と打ち合わせを行ったが、コンビナートの事故が大きかったことから1年間討議できなかった。12月に県側より指針案が提示され当組合側にて検討することになった。県側の鳥インフルエンザ対策として昨年は2回訓練を実施し、組合側はボンベや運搬で側面的に協力した。

兵庫（大岡評議員）

昨年は全溶連大会兵庫に全国各地より沢山の出席を頂き御礼申し上げる。消費者保安講習会50周年のイベントがあったが2年連続集客率が悪かった。今年は3月2日に販売主任者研修会を開催する。労働局の関係団体が作成した溶接溶断に関する指針の解説を行う予定であり、政令指定都市に対する権限移譲について神戸市の担当者を招聘し説明頂くことになっている。また、指針に絡む内容として周知文書には保安に関するチラシを入れることを考えている。

岡山（山本委員）

景況感が良いと思われる。自動車関連業界が回復したことが大きな要因とされるが、併せて昨年12月に愛知県よりRVR車の製造を一部移管することから景気増が見込まれる。業界関連では水島にて酸素メーカーが新会社を設立し、酸素製造の能力が向上していると共に今後夏に向けCO₂が不足していくなかで、ガス回収装置を新設して能力を高めている。求人倍率については1.87倍の水準にあるものの中小企業への応募は少なく人材不足である。消費者講習会を11月に開催したが、受講者数が前年の75%と減少しており講習内容のマンネリ化も一つの要因であることが懸念される。

広島（上野評議員）

県の経済指標は緩やかに拡大とされており、鉄鋼、自動車、一般機械、大手企業は高操業が続いているものの中小企業はどこまで恩恵に授かっているのか疑問である。有効求人倍率をみると非常に高く、慢性的な人手不足であり、特に中小企業への応募がない状態である。広島県では従前より権限移譲されており広島県の危機管理の消防保安課が各地域の拠点となる消防保安を行っている。広島県高压ガス溶材協会は昨年60周年を迎え記念総会を開催し、事業功労者等の表彰を行った。

山口(金子評議員)

景況については他県同様緩やかな景気回復基調である。輸出についてはプラス成長を続けており、生産については化学、鉄鋼が景気を牽引し自動車関連についても景気の良い状況を保っている。有効求人倍率は1.51倍の水準にあるものの中小企業への労力が回ってこないのが実情である。消費者保安講習会の出席率が若干頭打ちになっている傾向があることから今後の講習会については内容に工夫しながら開催したい。

四国(三浦評議員)

個人消費は持ち直し、緩やかな景気回復で持ち直している。我々の関連する金属・プラスチック部門の企業は持ち直しているが、一進一退の状況である。人材確保については求人率が高いにも拘わらず、人手が不足している状況である。今年度に入り、国内初、四国で初(1月10日)の鳥インフルが発生した。正確には1/10に鶏舎にて大量死を確認し遺伝子の検査を行ったが、地域で確認がとれず急遽茨城の専門機関に鑑定を要請した。有事に備えCO₂ガス110本を用意した。1/11に「茨城県つくば」より高病原性鳥インフルエンザ疑似

との報告があったが、時間的に余裕がないこともあり最終確定が判定される前の1/11に91,000羽の殺処分を完了した。

九州(井上評議員)

九州の景況については日本産業の集積地の様相を呈しており、各地区の景況感と同等である。期待は今年より放映されている大河ドラマ「西郷どん」がヒットし、観光需要が増えてほしいと願っている。

九州連合会では鳥インフルエンザ対応に力を入れており、協定書は8県のうち沖縄、大分を除き契約は締結済みである。容器管理指針については1月に宮崎県が締結し全県で完了した。全県ともに返還期日が記載された協定内容になっている。九州連合会としては出揃った消費事業所に指針を浸透周知していくことで進んでおり、指針は熊本、沖縄が先行しているが、消費者向けのパンフレットを各県毎に作成し浸透させることで進めていく。

最後に大場副会長の挨拶で評議員会は終了した。

委員会報告

平成30年1月～3月

財務委員会

日時 平成30年1月19日(金)14:00～15:30

場所 メルパルク東京 桂の間

出席者 柳川委員長、他4名、事務局2名



議題

(1)平成29年度決算見込(案)について

29年度利益見込み額：173千円

(2)利益処分(案)について

当年度未処分利益：11,547千円を次年度繰越金とする。

(3)全溶連財務状況について

今年度は賛助会員の加入金額が大口であったことから増額で推移したが、今後においても保安事業収入の源泉となる保安文書類等の頒布について全会員の協力をお願いしたい。

(4)平成30年度予算(案)について

平成30年度予算(案)利益：184千円

(5)その他

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。

第2回厚生委員会

審議内容については評議委員会の議案各号に掲載の為省略

日時 平成30年2月8日(木)11:00～13:00

場所 新大阪ワシントンホテルプラザ 老松の間

出席者 深尾会長、吉田副会長、土田委員長他6名、保険会社4名、事務局2名



議 題

- (1)平成29年度団体定期保険の更新並びに医療補償、障害補償、GLTDの加入状況の件
 - ①加入更新結果について
 - ②団体定期保険料について
 - ③組合別加入状況（平成30年1月1日現在）
 - ④GLTD制度（長期収入サポート）について
 - (2)ポイントゲット・セカンドステージキャンペーンの件
 - (3)その他
- 以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。

総務委員会

審議内容については評議委員会の議案各号に掲載の為省略

日 時 平成30年2月8日(木) 12:30～14:30

場 所 新大阪ワシントンホテルプラザ
蘭・牡丹の間

出席者 深尾会長、藤井副会長、望月委員長、川本副委員長他9名、事務局2名

議 題

- (1)第75回全溶連総会（東京）に関する件
第76回全溶連大会（北陸）に関する件
- (2)平成30年度事業計画（案）に関する件
- (3)委員会規定について
- (4)その他

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。

経済・保安合同委員会

日 時 平成30年3月9日(金) 12:00～16:00

場 所 メルパルク東京 牡丹の間

出席者 深尾会長、佐藤委員長、鈴木委員長、廣瀬副委員長、大森副委員長、大岡副委員長、鈴木副委員長他23名、事務局2名、損保会社1名

議 題

- (1)全溶連賠償責任保険平成30年度募集について（認知度向上アンケート集計）
- (2)平成29年度容器処理事業（特別枠）実施状況について
- (3)自主保安活動について
 - ①全溶連・保安文書頒布状況
各地の頒布状況に温度差があるのもっと活用を願いたい。
 - ②平成30年度版周知文書について
前年度との変更項目を明記のうえ本日承認されたので265,000部を発行手配する。
 - ③燃料用液化石油周知文書について
本日承認されたので在庫と照らし合わせた数量として10,000部を発行手配する。
 - ④全国一斉容器特別回収（訪問先軒数）
一斉特別回収報告書の提出が滞っていることから各地域にて取りまとめ報告書の提出に協力願いたい。
- (4)全溶連・高圧ガス保安ファイルについて
厚生労働省所管の研究所が発行した「ガス切断・溶接等の作業安全技術指針」を基に同指針概要書（パンフレット）を作成し周知文書と一緒に配布することとした。
- (5)周知文書解説書改訂について
高圧ガスに関する法改正に伴い従前の周知文書解説書を全面的に見直した原案について大岡保安副委員長より説明があり、同解説書を保安委員に振分け改訂内容の確認をして貰うことになった。
- (6)鳥インフルエンザアンケートについて
平成30年2月22日付にて業界と行政機関との状況を確認するためのアンケートを実施した。短期間であったにも拘わらず19事業所より回答を頂き集計内容を説明した。
- (7)その他



単位組合紹介

静岡県高压ガス溶材組合

所在地 〒417-0034

静岡県富士市津田 228-1 (富士酸素工業(株)内)

TEL0545-53-1010 FAX0545-53-3235

理事長 望月 常樹



望月 常樹 理事長

当組合は昭和6年9月「大日本カーバイト 銲接器具材料商組合静岡支部」として5社にて発足し、現在に至っております。理事長以下理事28名、監事2名で構成され、84社の会員（内1社は賛助会員）により静岡県を東部、富士、中部、志太榛原、西部と5支部に分割し、又本部組織内に総務、経済、保安、容器管理の4委員会を設け活動しております。静岡県は1978年、国による「大規模地震対策特別措置法」の施行により全域が地震防災対策強化地域に指定されました。いわゆる「東海地震予知説」によるものです。以後地震発生に備える行政などの指導は全国でも群を抜いて高レベルなものでした。これにより今日までの40年の年月が県並びに各市町村自治体のみならず県民1人1人の危機管理意識の向上にきわめて大きく寄与致しました。事故防止のための安全機器等の設置に対するユーザー様の理解も高いものでした。当

組合も、毎年継続事業として各支部単位での容器交換会（年2回）と危険物防災訓練及び販売事業者保安講習会を実施しており、より一層の拡充を図ってまいります。又、近年発生が顕著である鳥インフルエンザの対応においては（静岡県では未発生）、平成24年3月に静岡県との間で炭酸ガス及び資機材の調達に関する協定を締結しました。静岡県は180か所の家きん飼養所があり、最大規模の飼養所は100万羽以上です。静岡県鳥インフルエンザ対策本部も組織化され、平成26年より毎年県畜産課主催の元、国・県関係機関、各市町村、農業団体、静岡県警並びに11の各協定締結団体と協力して鳥インフルエンザ防疫演習に参加しております。中国ではすでに1500名以上の人に感染が確認され600名以上の死者が出ています。当組合も県との連携を密にし鳥インフルエンザの防疫に協力していきます。



鳥インフルエンザ防疫演習 大井川農協 果樹林産センター

賛助会員の広場

そんな声がお聞きしたくて、
WELDREAM®は誕生しました。
お客様のニーズに合った製品を続々開発し、
自信を持ってお届けしていきます。

これ、
いいね。



WELDREAM®

鉄骨向けシームレス
フラックス入りワイヤ

- ・ソリッドワイヤに比べ高電流域でも大粒スパッタ激減！
- ・ソリッドワイヤと同様の溶込み深さを実現！

NSSW SX-26

JIS Z 3313 T49J0T15-0CA-UH5

NSSW SX-55

JIS Z 3313 T550T15-0CA-UH5



日鐵住金溶接工業株式会社
Nippon Steel & Sumikin Welding Co., Ltd.

〒135-0016

東京都江東区東陽2丁目4番2号 新宮ビル

TEL 03(6388)9000

www.welding.nssmc.com

生きていく
あなたに、
安心の5つ星を。



生きるための保険。



継続サポート3大疾病保障保険付プラン



継続サポート3大疾病保障保険は「死亡保障を抑え、
がん・急性心筋梗塞・脳卒中に重点的に備える保険」です！



日本生命

生27-H-1134, 業務給付G

全溶連 賠償責任保険制度のご案内

高圧ガス販売業務に伴う事故による、第三者に対しての
法律上の損害賠償責任をカバーする保険です。
全溶連会員企業のための、有利で加入しやすい制度です。

1. 幅広い補償

高圧ガス販売業務の他にも、「工業用LPG販売業務」「電気溶接機販売業務」「電動工具／空圧工具販売業務」「エンジン・発電機販売業務」「溶接棒販売業務」「医療用ガス販売業務」を補償の対象に出来ます。

支払限度額は1億円、3億円、5億円の3種類から選べます。

免責金額（自己負担額）は5万円です

専用特約が付帯されます。

全溶連特約① …… 借用財物、支給財物、受託財物を補償する特約です。

全溶連特約② …… 管理下にある財物を補償する特約です。

全溶連特約③ …… 不良ガスにより出来上がった不良製品を補償する特約です。

2. 割安な保険料

団体契約のスケールメリットにより、個別にご加入する場合と比較して、保険料が割安です。

3. 簡単なお加入手続き

全溶連ホームページかパンフレットで、簡単に保険料の計算が出来ます。
保険料の振込みと加入申込票の送付（FAX）だけで、ご加入が可能です。
年の途中からでも加入が可能です。

詳細は全溶連（03-5296-0430）までお問い合わせください。

第75回 全溶連通常総会 のご案内

当連合会の第75回通常総会の日程、場所等
が決定しましたのでご案内致します。

今年全溶連総会は「通常総会」のみの形式
で開催致します。

通常総会后、懇親パーティーも予定しており
ますので、代議員以外の方々も奮ってご出席
くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成30年6月8日（金）

通常総会 14：30～15：45

懇親パーティー 16：00～17：30

場 所：メルパルク東京

東京都港区芝公園2-5-20

TEL：03-3433-7212

JR・モノレール「浜松町」、

地下鉄「芝公園」「大門」より徒歩

通常総会：4階 孔雀の間

懇親パーティー：5階 瑞雲の間

（参加費お一人8,000円を
ご負担頂きます。）

ぼくはボン兵衛くん

原作：封緘（ふうかん） 作画：ひくさね

第二十三話「湖の女神」の巻



全溶連ホームページ 会員専用ページへの 新規メンバー登録方法

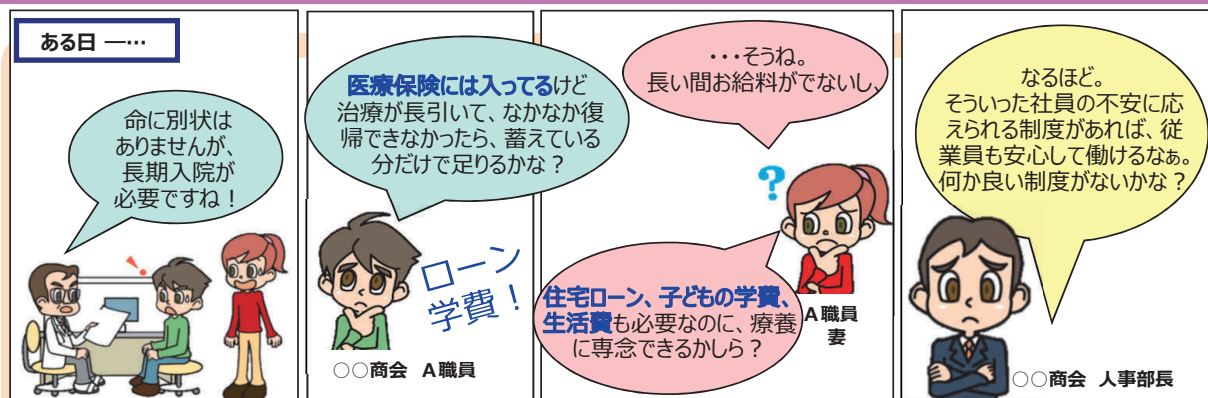
インターネットを開きアドレスバーに

<http://www.zenyoren.com/pwmgr/index.html> を入力。

新規登録メンバー画面が開きますので必要事項を入力し送信します。ご自身のメールに「ログインID・パスワード」が通知されますので、再度全溶連ホームページの会員専用ページへアクセスし、必要事項を入力して下さい。また、会員登録の方法は、全溶連ホームページの会員専用ページの見本を参照して下さい。

登録すると定款・規程・会員名簿・役員名簿・委員会名簿・議事録が見られます。

長期収入サポート制度のご案内 (全溶連GLTD制度)



そんなときに！！ **全溶連GLTD制度** ご検討ください。

お見積り ご相談は、
星和ビジネスリンクまで
お気軽にご連絡ください。

- ◆ 毎月加入ができます。(補償開始日：毎月1日より)
- ◆ 全溶連共済制度のため、単体で加入するより保険料が割安です！

(ご注意)当制度は団体定期保険の上乗せ補償制度です。
被保険者は従業員全員(欠勤により収入が減る役員も対象)になり、期中の増減報告は不要です。

1 保険料は損金算入が可能

- ◆ 会社が負担する保険料は福利厚生費等として全額損金算入が可能

2 優秀な人材確保につながります

- ◆ 万が一「就業障害になった際の収入を確保できる」ことが、本人と家族の安心につながることから、福利厚生制度として人材獲得面でのPR材料に使えます。
- ◆ 既存の従業員に安心を提供することで、人材の定着効果も期待できます。

3 訴訟抑制効果が期待できます

- ◆ 病気やケガで退職となった元従業員が、会社に損害賠償請求したり労災認定を求めて行政訴訟を提起すると、企業として対応に苦慮するばかりでなく、企業イメージの低下にもつながりかねません。
- ◆ 「GLTD制度」導入により、退職後も一定の収入が確保されることから、訴訟抑制効果が期待できます。

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「長期収入サポート制度(全溶連GLTD制度)のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。健康状態告知書質問事項の回答内容や加入申込票記載事項(年令・他保険加入状況・保険金請求履歴等)等により、ご契約のお引受けをお断りしたり、引受条件を制限させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を加入者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

[取扱代理店] 株式会社 星和ビジネスリンク
TEL:0120-288-270(土日祝日除く9時~17時)

[引受保険会社]

【幹事】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業第一課 TEL 03-6734-9608

【非幹事】日本生命保険相互会社

(2017年月12月承認) B17-103384

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル) Tel.03-5296-0430 Fax.03-5296-0435

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com